

広島開催

京都大学防災研究所・
広島県 共催

京都大学防災研究所公開講座

多発する

豪雨、水害、 土砂災害に 備える

2022

日時 10/4 (火)

10:00 - 16:30

会場

広島県民文化センター多目的ホール

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3 オンライン開催に変更する場合があります。
バス・路面電車「紙屋町西」「紙屋町」下車

入場料

無料

定員

250名(要事前申込み。新型コロナ対策のため人数を減らしています)

対象

一般・実務者・大学生・高校生

備考

本講座は、土木学会認定CPDプログラムです



受講申込みはこちらから



プログラム

10:00 ~ 10:10 開会の挨拶(所長 中北英一 / 広島県危機管理監 尾崎哲也)



教授 榎本剛

豪雨につながる大気の流れとその予測

10:10 ~ 11:00



准教授 佐山敬洋

日本全国の中小河川を対象とする
洪水予測システムの開発

11:00 ~ 11:50

11:50 ~ 13:00 (昼休み)



准教授 竹林洋史

2014年・2018年の広島での土石流災害の
発生要因とその予測・対策

13:00 ~ 13:50



准教授 松四雄騎

地形・地質・森林の影響を考慮した豪雨による
斜面崩壊の発生予測とその検証

13:50 ~ 14:40

14:40 ~ 14:55 (休憩)



准教授 藤見俊夫

大切だとわかっているのに災害の
備えをしない心のしくみ

14:55 ~ 15:45

15:45 ~ 16:25

総合討論(司会: 教授 矢守克也)

16:25 ~ 16:30

閉会の挨拶(副所長 渦岡良介)



京都大学防災研究所

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

□問合せ先 京都大学防災研究所公開講座事務局

所在地: 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学宇治地区事務部研究協力課拠点支援掛

メール: kokai04@dpri.kyoto-u.ac.jp 電話: 0774-38-3350

詳細ページ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/16259/>



広島開催

京都大学防災研究所・
広島県 共催

京都大学防災研究所公開講座

多発する豪雨、水害、土砂災害に備える

近年、気候変動の影響などから、豪雨とそれに伴う水害・土砂災害が多発しています。昨年の熱海での土砂災害は記憶に新しいですが、広島でも2014年の豪雨・土砂災害や2018年の豪雨被害が発生しています。そこで、豪雨・水害・土砂災害の発生要因とその予測や対応についてお話しします。



豪雨につながる大気の流れとその予測

教授 榎本剛

広島にも大きな被害をもたらした西日本豪雨(平成30年7月豪雨)や令和元年東日本台風では、これまでの局地的な豪雨とは異なり影響が広域に及びました。このような現象の予測について、アンサンブル手法を用いた解析や、スーパーコンピュータを使った数値実験の結果に基づいてお話しします。



日本全国の中小河川を対象とする洪水予測システムの開発

准教授 佐山敬洋

2018年西日本豪雨では、多数の河川で同時多発的に水害が発生しました。日本全国を対象に俯瞰的な視点を持ちつつ、身近な中小河川の洪水や氾濫を予測する新たな予測システムの開発研究を進めています。本講演では具体的な適用例を紹介したうえで、多発する水害にいかに対応するかを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



2014年・2018年の広島での土石流災害の発生要因とその予測・対策

准教授 竹林洋史

広島県では、2014年と2018年に多くの土石流災害が発生しました。本講演では、土石流の深さや速さ、氾濫範囲などの土石流の特性について示すとともに、土石流現象を予測・再現する最新技術について紹介します。また、土石流の氾濫特性に基づいた土石流からの効果的・効率的な避難方法について紹介します。



地形・地質・森林の影響を考慮した豪雨による斜面崩壊の発生予測とその検証

准教授 松四雄騎

山の斜面が豪雨で崩れてしまうのはなぜでしょうか。山地をつくる岩石や土の成り立ちと、地面に浸み込んだ雨水のゆくえ、また、その作用が斜面の崩壊を引き起こす仕組みを解説します。そして降水の浸透による斜面の不安定化に対する地形や地質の影響、森林の効果を考えた新しいハザードマップ作製の挑戦を紹介します。



大切だとわかっているのに災害の備えをしない心のしくみ

准教授 藤見俊夫

災害の危険性や対策・備えの重要性を頭では理解していて、やろうと思えばいつでもできるけど、なかなか行動にうつせないということはいくらでもありますね。「正常化の偏見」や「災害を他人事と感じている」などの理由が挙げられています。その背後には人が認知・判断するための無意識のプロセスがあります。そうした心の仕組みを簡単にご紹介します。

受講申込み

受講申込みはこちらから



Web から

9月20日までに本公開講座イベントページの「チケットを申し込む」から 必要事項を登録ください。

★イベントページ：<https://dpriopenlecture04.peatix.com> [Peatix]

電子メールで

9月20日までに①氏名②ふりがな③所属(勤務先または学校名)④連絡先メール アドレス

⑤今後のイベント案内(防災研メールマガジン購読)の要・不要、⑥土木学会CPDプログラム受講認定の要・不要を明記して送信ください。折り返し受講受付の通知をします。

★電子メール送信先：kokai04@dpri.kyoto-u.ac.jp [京都大学防災研究所公開講座事務局]

※オンライン開催に変更する場合があります。変更の決定は9月27日までにいきます。変更が決定された場合は、速やかに申込み時に記入された連絡先にお知らせします。またそれ以降に開催が不可能になる事態が発生した場合は開催を中止しますのでご了承ください。

□備考

- ・詳細ページ(右上受講申込みQRコード)に講義資料を掲載します。
- ・過去の公開講座の録画映像を「京都大学OCW」「京都大学防災研究所YouTubeチャンネル」からご覧になれます。